第７回　香川県学校薬剤師会教育講演会　いのちの授業

日時：平成２７年１１月３日（火・祝）１３：３０～１５：４３
場所：かがわ国際会議場
主催：香川県学校薬剤師会
後援：（一社）香川県薬剤師会、香川県教育委員会、高松市教育委員会、香川県学校保健会、四国新聞社

概要：
- トップアスリートの経歴をもち、その後、水難事故で首から下が完全麻痺となりながらも、現在明るく前向きに多方面で活躍している香川県観音寺市出身の毛利公一氏による「いのちの授業」。
- 出来ることに目を向け、プラスの目線をみんなが持てば、この世から障害者はなくなる。
- 壁に挑戦する「挑壁者」と、自分を呼ぶ。
- 日本のバリアフリーにひとつ足りないものがある。「こころ」が足りない。障害者も、同じものを、同じ場所で、同じように楽しめ、同じように喜べて初めてバリアフリーだ。
- 大事なふたつのキーワード　「ピンチの時がチャンス」「夢や目標を語ること」

内容：
〇司会：香川県学校薬剤師会　いつき
- 空気検査などのほかに、薬剤乱用防止、喫煙防止などの啓発活動を実施。
- その活動の一つの教育講演会は、今回で７回目。

13:31～13:34　開会挨拶　香川県学校薬剤師会　副会長　みなもと

- 今日で第７回目の教育講演会。
- セルフエスティーム　自尊感情の低い子供が増えている。
- 講演会を聞いていただき、みなさまに子どもたちに声かけをしていただきたい。
- 毛利先生の話を聞いていただき、みなさまのまわりで自尊感情の低いお子さんに、声かけをしていただきたい。

13:34～13:56　基調講演「いのちの授業によせて」

〇講師：香川県学校薬剤師会　会長　篠原幸夫
〇はじめに
- 若い人たちがたくさん来ていただいている。是非、若い人たちに今日の話を聞いて欲しい。
- 学校薬剤師とは、昭和５年の３月に北海道小樽で小学校４年生の女の子が倒れ、風邪だろうとアスピリンを飲ませた。消毒に使っていた「塩化水銀」がアスピリンの箱に入っていて、誤飲させてしまった。学校にも薬剤師が要るとの声。
- 翌年、香川県の国会議員の方が、「学校に薬剤師が必要だ」という請願書を国会に出した。
- 昭和３３年に学校に薬剤師を置くことに、「学校保険法」が改正された。
- 昭和３９年　「学校環境衛生の基準」が定められた。
- 平成２１年　「学校保全安全法」制定

〇学校薬剤師の仕事とは

・夏場のプールの残留塩素の採水、プール水質試験　水道水の残留塩素の測定
・過マンガン酸カリウム消費量　プールに落ち葉が入ると消費される
・学校の明るさ・まぶしさの検査　教室の照度
・シックハウス症候群の検査　揮発性有機化合物　ホルムアミデヒドなど
・保健室の布団などのダニ検査
・冬場の閉め切った教室では、二酸化炭素・気流の検査　空気の汚れを検査　外気は400ppm　教室は1,500ppmが基準
・浮遊粉塵の検査
・アスマン通風乾湿計　風邪の動きや温度、湿度を計測

〇薬物乱用防止活動
・中学校での薬剤乱用防止教室の実施、講演会などを実施。

〇青少年の６つの危険行動
①不慮の傷害野望呂奥にかんする行動
②喫煙
③飲酒および薬物乱用
④望まない妊娠，HIVを含む性感染症に関係する性行動
⑤不健康な食生活
⑥運動不足

〇セルフエスティーム「自尊感情」とは
・自分に自信を持ち、他人に思いやりを持ちながら、自分を価値のあるものだと思える感情

〇中学生にアンケート
◇あなたは少なくとも人並みには価値がある人間と思いますか？
・そう思う３２％、ややそう思う２６％

◇あなたは色々な良い素質を持っていると思いますか？
・そう思う１５％、ややそう思う２１％、どちらともいえない３８％、やや思わない２２％、思わない１６％
・持っていると思う子が３６％、思わない子が３８％

◇あなたはだいたいにおいて、自分に満足していますか？
・そう思う８％、ややそう思う１９％、どちらともいえない３５％、やや思わない２２％、思わない１６％
・満足していると思う子が２７％、思わない子が３８％

◇自分は全くダメな人間だと思うことがありますか
・そう思う１５％、ややそう思う１８％、どちらともいえない３６％、やや思わない１７％、思わない１４％
・ダメな人間だと思わない子が３１％、ダメな人間だと思う子が３３％

・自分に自信がないと思っている子の方が多い結果に。

〇これまでの教育講演会

◇２０１０年：村上和雄先生「笑いと健康」

・遺伝子の研究をしている先生。笑うことで良い遺伝子が活性化する。

・１個の受精卵から、生まれた時には３兆個の細胞、大人では６０兆個の細胞。６０兆個の細胞が全てがうまく活動しているか？

・１万円札を６０兆円分積み重ねると、富士山１２３個分の高さ 横に並べると、東京から神戸に到達するほどの数が６０兆。

・生きているだけで「すばらしい」と考えていい。

◇２０１１年３月１３日 水谷修先生「未来ある子供たちへ」

・夜回り先生

◇２０１２年３月１８日 岡村清二先生

・手作りヨットで太平洋横断、県会議員で、通信制の子供たちの施設を運営

◇２０１３年３月１０日 鈴木中人先生「いのちを大切にする心を育む」

・子供が小児ガンとなり・・・

◇２０１４年３月２日 腰塚勇人先生「命の授業 ～今のしあわせに気づくことから夢はひろがる～」

・脊椎損傷

◇２０１４年９月２３日 竹下和男先生「ごちそうさま もらったのは命のバトン」

・自分でお弁当を作ることで、自分に自信がつき、社会人になっても、色々なことに対応することが出来る。

◇２０１５年１１月３日：「よく生きる」

・アメリカに留学し、立派に成長死、今に至る。

13:56～15:40　特別講演「よく生きる」

〇講師：ラーフ理事長　毛利公一先生

〇プロフィール

・１９８１年香川県生まれ、観音寺第一高校時代、棒高跳びで様々な優秀な成績。

・早稲田大学へ進学、関東インカレでも優勝。

・棒高跳びのコーチになるためにアメリカ留学中に、事故で半身不随。

・様々な資格を取得し、活躍。

〇はじめに

・社会福祉法人ラーフの理事長　観音寺からきました。

・一時期、１１年前、僕は声を失っていました。
・生きることについてお話ししたい。

〇４年前のニュースを自己紹介にかえ
・ハンディをものともせず　水難事故で身体が動かなくなり、「首から上は動くんだ！」と。
・毛利公一さん、３０歳。自分の意志で動かせるのは首から上だけ。身体が動かないことから血圧が下がり、立っているのがやっと。
・留学中の海で頸椎を損傷。２３歳の時。
・「すごく悔しかったので、自分の人生くらい自分でよくしてやる」との思いが。
・パソコンのスイッチはあごで操作し、入力は声で。
・傷害のある方が仕事をすることに取り組む。
・首から下が汗をかかない体のため、棒高跳びのコーチは木陰で、水のスプレーで身体を冷やし。
・今、手や足に感覚がなくても、最新医療で直るときがくるときに備え、リハビリに取り組む毎日。
・国家資格を取りたい。「僕の身体は首から上が動くんだ」と、笑顔で毎日を過ごす。

・１１年間、この身体で過ごしてきました。今は３４歳。
・怪我をした直後は「死」の言葉が頭をよぎったこともあったが、今は生き甲斐を持って暮らしている。
・全国で３万人の人が自らの命を絶っている。昨日、映画の「永遠のゼロ」を見た。特攻

〇「障がい者」　僕はこの言葉が嫌いです
・漢字で書くと「障害者」
・会場の方に挙手を求め、「障害者」に９割の方がマイナスのイメージ。
・自分のブログや文章には「障害者」を書かない。「挑壁者」「壁」に「挑戦する」と書いて「挑壁者」
・苦手なことがある　痛みを感じない
　　体温調節が苦手
　　バランス　身体の位置を保持できない
　　うんこやおしっこも人の手助けが必要

〇みなさんは苦手なことがありますか
・泳ぐのが苦手、人前であがってしまう　苦手なことが、大臣でも社長でも、誰でもある。
・みなさんが持っている「苦手なこと」は「傷害」ですね。誰かに手伝ってもらったり、はなから自分ではしなかったり。
・僕も手足を動かすのが苦手なので、誰かに手伝ってもらうと手を挙げたり、立ったり出来ます。
・みなさんも苦手なことがあって、誰かに手伝ってもらっている。僕も同じことをやっています。

〇こだわり
・カレーの食べ方、・・・
・こだわりのある方も「障害者」？

〇みなさんの得意なこと、好きなことは何ですか
・苦手なことより得意なことの方が、数が少ないかもしれません。

〇毛利公一の得意なことは何でしょう
・怪我をして一番最初に始めたこと、得意なことは、「笑うこと」。
・しゃべること、アイディアを考えることが得意。パソコンはあごと音声で操作する。みなさんがキーボードを打つより、僕がこの音声で話すスピードで文章を打ち、早いかもしれません。

〇僕が車椅子で会場に入ってきて
・多くの方は「首から下が動かないんだ」と観ている。
・「首から上は動いているんだ」と思った方は、ケアマネージャになってください。

〇人間力大賞グランプリ
・昨年、全国２位をいただいた。怪我をする前は、全国３位までしかとれなかった。
・怪我をする前より、怪我をした今の方が輝いていると思えます。
・７月にはＮＰＯ法人から社会法人へ
・陸上の審判が出来る。いろいろな活動が出来るようになっている。

〇プラスの目線
・「首から上が動く人」に目線を向けられる人になってください、プラスの目線を持ってください。
・みんながプラスの目線を持ってもらえれば、社会から「障害者」が無くなります。

〇みなさん、もう出来ています
・友達なんかをほめていませんか
・「その髪似てるねぇ」「その服良いですねぇ」　良い部分に焦点を当て、人間関係を良くしている。そうすれば、かわいそうな人がいなくなる。

〇モラル　いろいろなところで出来ないことが生まれる
・「思いやり駐車場」　ここを使われてしまうと、買い物が出来なくなる人が生まれる。
「多目的トイレ」　僕はこのトイレでないと難しい。若い人がここで化粧を直している？　ここを使われてしまうと、出来ない人が生まれる。
・モラル
・作られている「障害者」へのマイナスのイメージを、プラスのイメージを持ち、モラルを持ってもらえれば、・・・

〇岡山のトイレ
・男女のそれぞれのトイレに傷害者用のトイレと、また別に多目的トイレもある。
・２０２０年にはパラリンピックもあり、さらに進んでいくかもしれない。

〇アメリカ研修にて
・研修でアメリカのカリフォルニア州、約１週間滞在　科学博物館でチャラチャラした人が戸を開けてくれる。ホテルのドアが自動ドアではないので、アロハシャツのお兄ちゃんが戸を開け

てくれる。
・アメリカでは、車椅子を見ると誰もが戸を開けてくれる。
日本では、「出来る人がやればいいんじゃない」という視線を感じる。
・日本のディズニーランド、ＵＳＪは、おもしろくなかった。日本のランドは、車椅子では半分ぐらい入れない、乗れない。
・アメリカのディズニーランド　ジェットコースター、観覧車　「ノーマル」と「スウイング」が選べる。車椅子の人も、一般の人と同じ対応。
・日本では、車椅子は「特別」な存在になってしまう。
アメリカでは、車椅子はゼネラル、「一般」な存在。
・アメリカのディズニーランドは、いけない、入れないところはなかった。
・日本は、料金が半額だけれど、入れない、乗れないものが半分。アメリカは料金が同じだけれど、入れない、乗れないものはなかった。　→　その間、自分は車椅子に乗っていることを忘れていた

〇差別
・日本にも「差別してはいけない」という法律がある。平成２５年６月、「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」（いわゆる「障害者差別解消法」）が制定され、来年施行される。
・アメリカでは１９９０年、ヨーロッパではもっと早く法律が出来た。
・日本のバリアフリーにひとつ足りないものがある。「こころ」が足りない。
同じものを同じ場所で、同じように楽しめ、同じように喜べて初めてバリアフリーだ。

〇夏にふれあい夜市をやっている。
・夜市　屋台
・ファッションショー　障害者のファッションショー
・跳び箱選手権　７５人のうち４人は傷害のある人　一番盛り上げたのはこの４人
・ハロウィンパーティ
・僕のイベントのコンセプトは、「同じものを、同じ場所で、同じように楽しめる」

〇福祉活動
・福祉活動を表に出さない、ベールに隠したイベントをやります。
・みなさんに「福祉に興味がある」と聞いても、興味がある人は少ない。福祉活動だというと、来てもらえない。
・福祉をベールに隠し、たとえばハロウィンパーティ。仮装して飲み食いするだけでなく、体験してもらいながら、「同じものを、同じ場所で、同じように楽しめる」よう考える。
・料理の注文は手話や点字で、メイク室へは車椅子でスロープを登ってもらい、遊んでもらいながら福祉への理解を深めたい。

〇人生のどん底
・２００４年７月１７日　首の上から３番目の骨　呼吸中枢　「一生呼吸器を付け、ベッドに寝たきり」、死の宣告を受けたようだった。
・医者に反発し、医者が「だめ」と言うことをことごとく実践した。
・長いときには一日４５分間トレーニングしている。

・１年後には、自分で丸椅子に座れるようになった。２分間ぐらい座れるようになり、余裕ができ、少しずつしゃべれるようになってきた。
・怪我をして１１年間、リハビリとかいろいろなことに挑戦してきました。　→　大事な二つのキーワード

〇ひとつ目のキーワード　「ピンチの時がチャンス」
・みなさんはどんな時に「壁」にぶち当たりましたか、どんな時に「ピンチ」だと思いましたか。
・僕にとっての大きな「壁」は、呼吸をすること、仕事をすること。

◇仕事をすること
・２５～２６歳頃、暇でゲームをしていたとき、同年代は仕事をしているではないか、僕は仕事を出来ていないとの思い。
・パソコンは使えるのでハローワークに。「障害者雇用法」職員の２%以上障害者を雇えという法律。この法律を守っている企業は、全国で４５%、香川県は６５%。
・企業は仕事をしてもらいたいので、比較的軽い傷害の人から雇用されていく。観音寺市には大企業が無く、僕が仕事を探すのは難しい。　→　社会的な「壁」を感じた
・絶対にしてはいけないと思っていることは、
・出来るかもしれない方法を、全て考える。自分自身の出来るところ、プラスの部分に目を向けた。しゃべれる、考えられる、パソコンが出来る　→　「経営」が出来る
・スポーチばかりをしていたので、経営のことは分かっていなかった。会社はどうすれば作れる、保険は、給料は、経営は？　インターネットで調べ始めた。
・自信がつきました。
・「出来ない、出来ない」と言うのではなく、「出来るやん」と。

◇呼吸をすること
・初めて「呼吸」が出来た時、医者にも出来ないと言われていた呼吸が出来たとき「自信」がつきました。
・絶対無理と思ったら、その壁は一生乗り越えられなくなる。
・出来る方法はないだろうか、試してください。

・壁を探していこう。そして挑戦し、「やったー」という喜び、自信を持っていきたい。
・壁にぶち当たっている人は、出来る方法で、挑戦して、幸せに向かってください。

〇二つ目のキーワード　「夢や目標を語ること」
・毎日新聞を読む、毎日勉強をするなど、いろいろな目標がある。
会場の方で、自分の夢や目標を言える人は？

◇高松第一高校２年生　みよし
・高校生のあいだに、インターハイで優勝すること。
・陸上を続けて学校の先生になって、陸上を続けて、恩師が日本一の選手を育てたので、その恩師を乗り越えることです。

・会場の方々で、三好さんを応援するという方は拍手を　→　会場いっぱいの拍手
・夢や目標を口に出すことで、そこに仲間が出来る、輪が出来る実験です。この輪の中には、「学校の先生になるにはこんな勉強をしたらいい」という情報提供者、「僕も負けへん」というライバルが見つかるかもしれません。
・何より口に出すことで、自分の目標がはっきりと見えてくる。夢や目標が近づいてくる。
・僕の目標は、もう一度自分の足で歩くことです。リハビリがめんどくさいなぁと思っても、いろいろな会場で宣言しているので、仲間が集まり、仲間が支援してくれ、毎日リハビリを続けている。
・毎年、年の始めには一年の目標をブログに書くようにしている。
・社会福祉法人の立ち上げ方を教えてくれる人が出てくる。
・「社会福祉法人を立ち上げること」「本を書くこと」　いずれも夢は達成されました。

・これからやろうと思っていること、思っていることがあれば、是非口に出して言ってみて。それが夢や目標をかなえる第一歩です。

〇社会福祉法人　ラーフ
・カタカナのラーフと笑っている顔がロゴに。
・声をあげて笑う活動をやっている。
・就労
・よく生きる　僕の生き方を真似して欲しいと思っていません。
・海の中で目が覚め、死の言葉が頭の中をよぎり、多くの人に助けられ、これからも良い生き方をしようと思っている。
・せっかく生きているんだから、良い生き方をしませんか。
・死の間際で、「自分は良い生き方が出来たなぁ」と思えるよう、夢や目標を語り、是非叶え、良い生き方をしてください。

〇最後にお願い
・これからがんばろうと思ってくれた人、笑顔でピースをしてください。　→　会場いっぱいの笑顔とピース

15:38～15:40　質疑

司会：首から上が動く、笑うこと、考えること、しゃべること、考えることが得意。プラスに目線を向けることを気づかせていただきました。

篠原Ｃ：いつも勇気を与えられる。これからもご活躍を。

15:40～15:43　閉会挨拶　きむら

・人間の体は精密にできている反面、もろいところがある。意志の強さでクライマーのような意志。命を考えるきっかけをいただきました。

－以上－